

八ヶ岳 石尊稜・阿弥陀岳北西稜 山行報告

(山城) 八ヶ岳連峰

(コース) 石尊稜・阿弥陀岳北西稜

(日時) 2018年2月26日～27日

(天候) 晴れ

(参加者) 松原、前田

(山行タイム)

2月25日(日)

19:30 千葉出発→10:30 道の駅小淵沢→幕営

2月26日(月)

4:40 道の駅小淵沢出発→5:40 赤岳山荘駐車場→8:30 行者小屋→10:30 石尊稜取付き→11:00 下部岩壁→14:30 上部岩壁→15:30 石尊峰→16:50 行者小屋→幕営→21:00 就寝

2月27日(火)

6:10 行者小屋出発→6:40 北西稜取付き→7:30 小ピーク→9:00 下部岩壁→11:00 上部岩壁→12:45 摩利支天→13:00 阿弥陀岳→14:00 行者小屋→17:10 赤岳山荘駐車場→帰葉

先月の天狗尾根で厳冬期の厳しさに打ちのめされて、装備等を見直してもう一度挑戦したいと思いのぞみましたが、雪も少なく寒さも和らいできているようでした。

ルートは石尊稜とシーズン始めからずっと気になっていた阿弥陀岳北西稜に決める。

25日

以前軽トラの荷台に積んでいた松原さんの荷物がふっ飛ぶという悲しい出来事がありましたが、今回荷台に覆いをつけてくれたので、雨雪にさらされる心配も共に解消される。ありがたい！

小淵沢道の駅にテントを張り、軽く飲んで就寝。

26日

朝、小淵沢道の駅発。美濃戸からチェーンを着ける。一瞬ガタンと軽トラが傾き、うぎゃと思ったがなんとか無事に赤岳山荘に到着する。松原さんは小屋のおばちゃんに、あんたまた来たのと声をかけられていた。

赤岳山荘 5:40 から行者小屋まで行き、テントは張らずに準備にとりかかる。久しぶりの晴天山行でうれしいこと限りない。なのに今日の私は…忘れものやシュラフがビールでびしょびしょになったり、手袋が対でなかったり(テムレスの同サイズを数個所持している人は注意です)、アイゼン取れたりして…時間



赤岳山荘駐車場

押し押せに。随分あるな…ごめんなさい。

行者小屋 8:30 発。行者小屋から赤岳鉱泉方面に進みくねくねした急坂を下りきった看板のある所から日ノ岳ルンゼの方向に入る。

三叉沢を通り過ぎその先の鉾岳沢に上がっていく。トレースはしっかりついていたが確信が持てず確認しながら進む。下部岩壁が見えてから尾根に向かって左上し岩壁基部まで。下部岩壁到着 11:00。

1P 目(松)スラブ状フェース

取り付きにはビレイ点が左右2ヶ所あり、どちらも上の岩にペツルが打ってあるのが見える。トポには左側からとあったが右側を行こうと取り付く。凹状から雪をどかしながらの甘いホールドと草付きとで、岩の脆さも加わり下から見た感じと異なりとても渋かった。

その後はリッジをコンテで進み上部岩壁へ。

天気が良いのがうれしくて、時々のもんぴりした気持ちになってしまう。

隣りに中山の下部岩壁が見える。立ってるなあ。

上部岩壁 14:30。上部岩壁は階段状～ガリーを詰める難しくない2Pの登りで石尊峰に15:30。

時間が気になっていたけれどよかった。

日ノ岳(中山尾根をのぼるとつきあげる頂上)を探しながら稜線をうろちよろするが、ピンとこないまま…地藏尾根を下る。

行者小屋 16:50 着。日が延びてうれしい。テン場には6張り程のお客さま。明るいうちにテントを張ってごはんを食べて、ビールをこぼして、明日の北西稜にドキドキして、21時過ぎに眠る。

2月27日(火)

朝、大学生らしいパーティーの足音がする4:30起床。なんだかいつもと違う。気分が高まっているのかな。なんとって北西稜だ。



行者小屋出発!



下部岩壁



クライミング終了

ごはんを食べ過ぎて、準備をする。

6:15 行者小屋発。美濃戸方面に 10 分程歩いた所、昨日来た時に確認したトレースに入る。トポとは少し違う入り口だ。トレースを外すと膝下から股下まで落ちることがあり、ラッセルと稜線探しの時間短縮になって本当にありがたい。トレース沿いに樹林帯を上がって行き沢を 2 つ横断して北西稜に取り付く。尾根に出て樹林帯を進むと前方に露岩が。トポに露岩とあり何だろうと思っていたが、なるほど露岩だ。その先もぐんぐん上がって行く。森林限界に近づくにつれ小ピークと北西稜がきれいに見えてくる。天気も良くて歩いているだけで最高の気分。北稜を登っている人たちが稜線上にきれいに見える。



北西稜取り付き



小ピークからみた北西稜

小ピーク着 7:30。小ピークからは、そこから続く龍の背の様ナリッジを経て下部岩壁～上部岩壁まで見渡せる。風があったので少し下で準備する。

小ピークからリッジを 130m。松原さんが苦手とするナイフリッジだったけれど、今日は「ロープつけてますから」と他に何も言わない。頼もしい。リッジにはほとんど雪は着いていなかったけれど、やはり怖い。

1P50m(松)スノーバーで終了点をつくる。

2P50m(前)やや右寄りを行く。あまりよくない所もあったけれど中間支点をちゃんと取らなかったなと思う。ペツルで終了点

3P30m(松)下部岩壁に。

下部岩壁 9:00。下部岩壁じゃんけんは前田の勝ち。あるおじさんのまねをして“リードだー!!”と試してみたら急にめらめらしてきた。正面の薄かぶりを行こうと血迷ってしまったが、よく見ると絶対にのぼれない。正気に戻り右のクラックを行く。

1P(前)手袋を着けていてもジャムがしっかり決まった。5m の壁を登ったらリッジに伸ばしてピッチをきる。中間支点に残置ハーケンもあったが、他にハーケンとイボイノシシを使用する。



下部岩壁の上部

2P(松)30m 程リッジを歩き上部岩壁へ。

上部岩壁到着 11:00。昨日今日とじゃんけん
に勝ちのない松原さんに負けた方がこのピ
ッチをと提案してみるが、冗談じゃないと言
われる。

1P(前)15m 岩壁～

リードだー！！

ビレイ点を右に回り込み取り付く。

下のクラックでカム(#0.75～1)を使う。やや
一段上がってからは残置ハーケンに支点を
とる。ハンドとフィスト。ジャムをきめよう
とするけれど手袋で抜けそうになり、クラッ
ク上部で厚手の手袋を外す。インナーを外し

ていたの素手になってしまった。雪が指先で溶けてガチャにくっつく。よくないなと思いつつも、もう
少しだけーと。クラックからフェースに移り岩壁を乗り越しピッチを切る。

やったー^^



上部岩壁

その後、稜線手前の安全な所まで 1P 伸ばし稜線へ。

阿弥陀岳着。360° の山々が遠くまで見渡せる。なんてことだ…。

トラウマの地獄谷も眺める。でも絶景だ。北陵を登ってきた岐阜のお二人とお話しして、中岳沢を下り
る。雪崩の心配はなさそう。

行者小屋まであつという間。

テン場に戻ると他のルートに行っていた大学生パーティーも既に帰っている様子。

残っていたソーセージを焼いて(うまい!)、やたらと時間をかけて丁寧にテントを撤収。大パノラマの西面
を観察して(石尊稜はどれだ?)行者小屋をあとにする。

寄り道して南沢小滝へ。近くにテントが張ってある。少し水が滴っているところがあるけれど、登りやす
そうな所から難しそうな所までありました。

何度か小屋の姿の幻覚をみて赤岳山荘着。もみの湯。帰葉。

お日さま、松原さんありがとさん。やったね。



お・ま・け 南沢小滝